

- 問1 室町時代の中期、浄土真宗（一向宗）を信仰する地侍や農民たちが強く団結し、加賀国（現在の石川県）の守護大名である富樫氏を倒す出来事が起こりました。この蜂起によって実現した、その後約100年にわたる地域の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。  
（2026年 高知県公立入試 類似）
1. 武家諸法度を無視したとして幕府から改易を命じられ、キリシタンを中心とした大規模な反乱が起きた。  
2. 有力な国人たちが集まって合議制を敷き、守護大名の立ち入りを8年間にわたって禁じた。  
3. 幕府に対して借金の帳消しを求める徳政一揆へと発展し、全国的な徳政令の発令を勝ち取った。  
4. 門徒たちが独自の政治体制を築き、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるような自治を実現した。
- 問2 日本の戦国時代に相当する16世紀、ヨーロッパではキリスト教のあり方をめぐって大きな動きがありました。カトリック教会の腐敗を批判し、聖書を信仰のよりどころとする「宗教改革」を始めた人物は誰ですか。  
（2023年 栃木県公立入試 類似）
1. クビライ・ハン  
2. ナポレオン  
3. ルター  
4. ワシントン
- 問3 戦国時代、現在の島根県に位置する石見銀山は日本最大級の銀山として知られていました。この銀山の支配権をめぐって、中国地方を舞台に激しい抗争を繰り広げた戦国大名の組み合わせとして適切なものはどれですか。  
（2026年 島根県公立入試 類似）
1. 織田氏と今川氏  
2. 島津氏と大友氏  
3. 尼子氏と毛利氏  
4. 武田氏と上杉氏
- 問4 戦国時代、各地の有力な戦国大名が自らの領国内の秩序を維持し、家臣や領民を統制するために独自に制定した法律を何といいますか。  
（2024年 奈良県公立入試 類似）
1. 分国法  
2. 永仁の徳政令  
3. 公事方御定書  
4. 墾田永年私財法
- 問5 日本の歴史における主要な出来事を時系列で整理したとき、鎌倉幕府の成立、室町幕府の成立、応仁の乱に続いて、16世紀に発生した出来事としてふさわしいものはどれですか。  
（2020年 京都府公立入試 類似）
1. 元寇による博多への侵攻  
2. 種子島への鉄砲の伝来  
3. 日明貿易（勘合貿易）の開始  
4. 御成敗式目の制定
- 問6 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の戦国時代の戦い方や社会にどのような変化をもたらしましたか。最も適切な説明を選んでください。  
（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. 弓矢や刀剣が全く使われなくなり、すべての兵士が鉄砲のみを装備して戦うようになった  
2. 鉄砲の製造に高度な技術が必要だったため、戦国大名同士の争いが一時的に停止した  
3. 騎馬武者による一騎打ちが戦いの主流となり、個人の武勇がより重視されるようになった  
4. 足軽による集団戦法が普及し、強力な攻撃を防ぐために城の造りがより堅固になった
- 問7 16世紀半ば、種子島にポルトガル人を乗せた船が漂着し、日本に新しい兵器が伝えられた出来事について、その後の歴史に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。  
（2020年 京都府公立入試 類似）
1. この兵器の伝来により、騎馬武者が名乗りを上げて一対一で戦う伝統的な戦術がより一層重視されるようになった。  
2. 1543年に伝えられたこの兵器は、集団戦法への転換を促し、防御力の高い城郭の構造などにも大きな影響を与えた。  
3. この兵器は朱印船貿易が最も盛んだった江戸時代初期に初めて日本にもたらされ、幕府の軍勢力を支えた。  
4. この兵器は元軍が日本に襲来した際に初めて伝えられたもので、鎌倉幕府が滅亡する直接の原因となった。
- 問8 戦国時代の社会や法律について説明した文章として、「朝倉氏が城の建築を制限する規定を設けたことや、武田氏が喧嘩両成敗の原則を定めたことなど、大名が独自に定めた規定が存在した」という記述があります。この記述の説明として最も適切なものはどれですか。  
（2026年 岩手県公立入試 類似）
1. これは下剋上の風潮のもとで戦国大名が定めた分国法に関する記述である。  
2. これは江戸幕府が成立した直後に各大名を統制するために出された武家諸法度に関する記述である。  
3. これは室町幕府が守護大名の権力を強めるために制定した建武式目に関する記述である。  
4. これは鎌倉幕府が御家人同士の土地の紛争を裁くために制定した御成敗式目に関する記述である。
- 問9 越前国（現在の福井県）を支配した朝倉氏の法には、本拠地である朝倉館のほかに国内に城を構えることを禁じ、有力な家臣を一乗谷に移住させるよう命じた規定があります。戦国大名がこのように定めに代表される「分国法」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。  
（2021年 三重県公立入試 類似）
1. 一乗谷を商業の中心地とし、家臣に農業ではなく外国との貿易に専念させるため。  
2. 村々に代官を置くことで、農民から直接税を徴収する太閤検地の予備調査を行うため。  
3. 家臣を城下町に集めて監視・統制を強め、反乱を防ぐとともに領国支配を安定させるため。  
4. 幕府が定めた武家諸法度を遵守させ、將軍への忠誠心を高めるための準備を行うため。
- 問10 室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。  
（2016年 静岡県公立入試 類似）
1. 尊王攘夷  
2. 御成敗式目  
3. 下剋上  
4. 一向一揆
- 問11 戦国大名が定めた法律の内容に多く見られる、「家臣同士が私的な争いを起こした場合、その理由の正当性を問わず、双方とも処罰する」という原則を何と呼びますか。  
（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. 奉公と恩賞  
2. 喧嘩両成敗  
3. 目目安箱  
4. 連座（縁座）
- 問12 1543年、九州南方の種子島に漂着した船に乗っていた人々によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。このとき、日本に鉄砲を伝えたのはどこの国の人々ですか。  
（2014年 沖縄県公立入試 類似）
1. スペイン人  
2. ポルトガル人  
3. オランダ人  
4. イギリス人
- 問13 戦国時代、鉄砲の伝来などにより戦術が変化し、大規模な軍勢力とそれを支える安定した領地経営が不可欠となりました。こうした中、戦国大名が領国内の紛争を禁じたり、年貢の徴収を確実にしたりする目的で定めた「分国法」の性質として、最も適切な説明はどれですか。  
（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 幕府の許可を得た大名だけが、他国との貿易を制限するために定めた規則である。  
2. 朝廷が全国の公家や武士に対して一律に適用した法律である。  
3. 戦国大名が、室町幕府の法によらずに自らの領土を統治するために独自に定めた法律である。  
4. 鎌倉時代の慣習法を整理し、武士の裁判を公平に行うために幕府が定めた法律である。